

じっせんへん  
実践篇

## 冷たい空気をなるべく入れない！

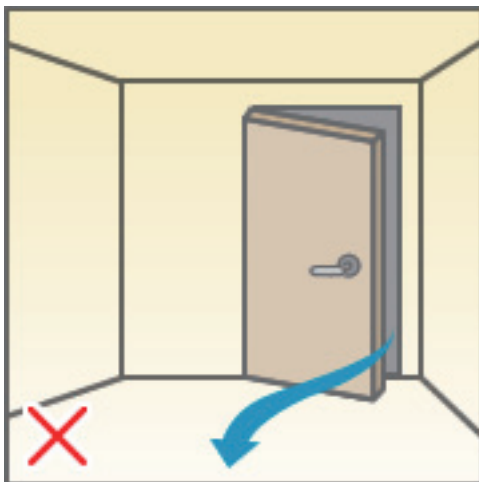


エアコンの節電は、冷たい空気をお部屋になるべく入れないことがキホン。部屋の出入りの時には、ドアは開けたらすぐしめて、冷たい空気を部屋に入れないように心がけよう。



## ドアはきちんとしめて冷たい空気を入れない

換気（かんき＝空気の入れかえ）をするとき以外は、エアコンをつけている間、ドアやまどをきちんとしめておこう。ドアやまどが開いていると、お部屋をあたためていても、外から冷たい空気がお部屋に入ってきてしまう。これでは部屋を効率的にあたためることができず、電気もよぶんに使うことになってしまうよね。また、部屋へ出入りする時も、ドアの開けしめはできるだけすばやくしよう。そして、きちんとしめたことをかくにんして、冷たい空気が部屋に入りこまないようにしよう。

ちゃんとしめたか  
かくにんしよ～



## カーテンにもひと工夫

エアコンであたためた空気の“熱”をにがさないよう、カーテンでも工夫ができる。

カーテンはまどのサイズにあってるかな？カーテンが小さくて、まどの一部が見えてしまうような場合は、そこから“熱”がにげてしまうんだよ。カーテンはまどガラスの部分をしっかりおおうようにして、“熱”がにげる量をへらすようにしよう。

そして、カーテンの色もポイントのひとつ。色には、赤や黄色などの暖色系（だんしょくけい）という種類があって、暖色系の色を見ると、人はあたたかさを感じると言われている。カーテンの色でも、あたたかさを感じる工夫ができるんだね。



カーテンも  
だいじなんだね





## 昼間の太陽熱を取りこむ

冬でも太陽にあたっているとポカポカしてくるよね。家の中にも、この太陽の熱を取りこんで、あたたかくなりやすいお部屋にしよう。

昼間は、日が差し込むほうのまどのカーテンをあけておこう。そして日がくれ始めたらすぐにカーテンをしめて、お部屋に熱をためる。ぶあついカーテンを使ったり、まどガラスに断熱（だんねつ）シートをはったりすれば、熱をもっとためやすくなるよ。

夏の間、節電のために「よしず」や「緑のカーテン」を使っていたお家は、冬の間は取り外したほうがいいよ。昼間の太陽熱を取りこむのをジャマしてしまうからね。

